

2025年9月25日(木)

「みらいPitch」第3回ピッチイベント

主催：経済産業省 東北経済産業局・関東経済産業局
中部経済産業局・四国経済産業局・九州経済産業局、中小機構

世界中のものづくりの課題を解決する
協創パートナーを募集！



リックス株式会社

N B 開発本部
N B 企画部
福島 豊仁

顧客課題、社会課題解決に向けて皆さまからのご提案をお待ちしております。

- 食品、医薬・化粧品、農業などの業界にて省人・省力化に向けたDX化技術（ロボット化、AI画像認識、パレタイズ、在庫管理）をお持ちのパートナー様
- 他社にはない唯一無二の流体（液体に限らず、気体、固体）制御技術をお持ちのパートナー様
- 鉄鋼、自動車、半導体などの業界に対して、課題を解決するソリューションをお持ちのパートナー様
- 是非、当社と協（とも）に新規事業、アイデアを具現化したいスタートアップを始めとするパートナー様

- 自己紹介
- 会社紹介
- リックス協創センター紹介
- オープンイノベーションの取り組み
- 最後に

RIXing Action

いわゆる超大手企業（メーカー）

- ・ 稟議、意思決定が遅い（大きな象）
 - ・ やったことない、実績がないものには消極的
-

- ・ 新規事業が既存事業の製品開発、技術開発の延長上（本部、事業部直轄が多い）
- ・ 製品を上市しても、売り先が見つからない（きっと売れるはずだ）

リックス（中堅企業）

- ・ 意思決定がはやい（スーパー足軽）
 - ・ まずはやる！やりながら考える！
-

- ・ 既存事業から新規事業を切り離す
- ・ 自社の商社機能を用いて、末端ユーザーへのPRが可能

- 自己紹介
- 会社紹介
- リックス協創センター紹介
- オープンイノベーションの取り組み
- 最後に



RIXing Action

経営理念

私たちは、常に未来を見つめ、販売・技術・製造・サービスの高度な融合をめざす「メーカー商社」として
世界の産業界に貢献します

創業

1907年



創業以来黒字経営

116年



国内拠点数

37か所



海外拠点数

12か所



売上高

497億円

FY2023 / 連結



従業員数

723人

2024年3月時点 / 連結



顧客数

2,900社

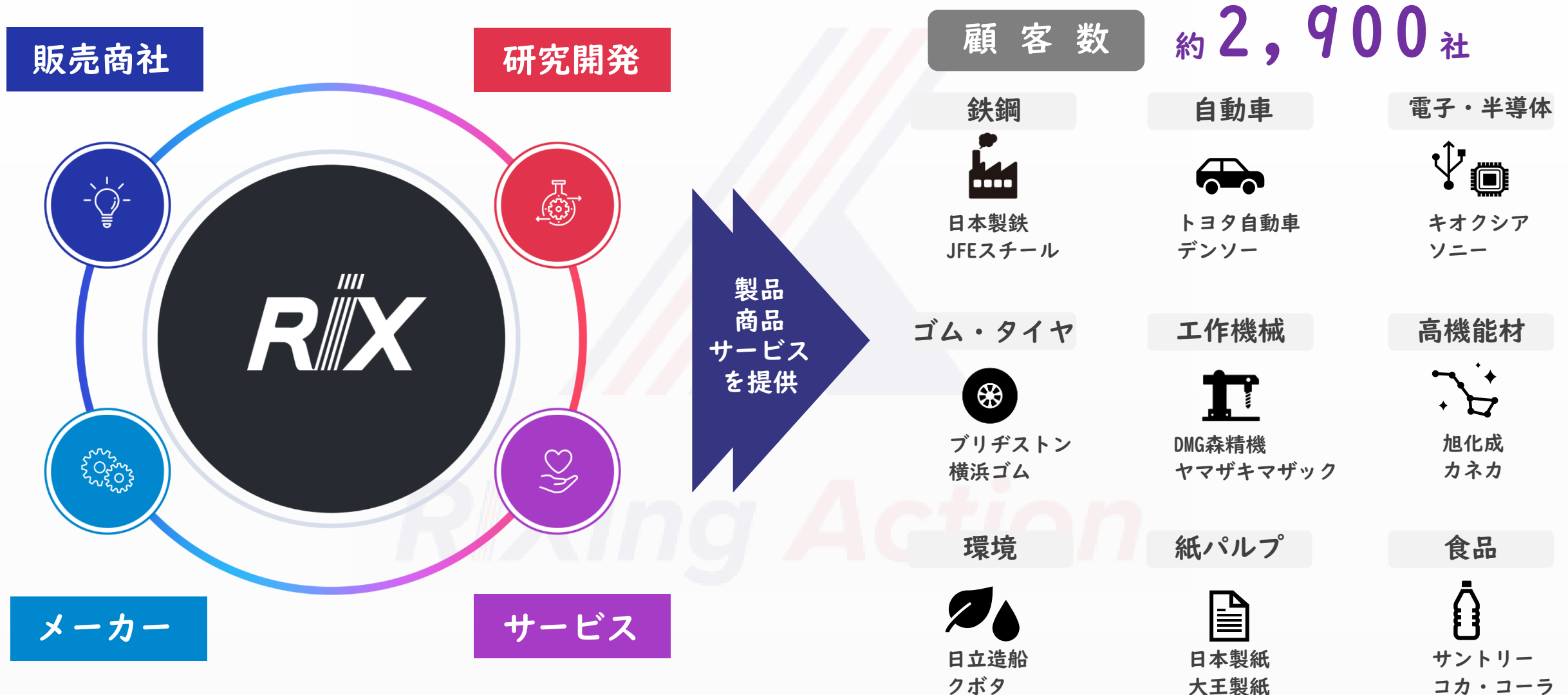


仕入先数

2,600社



4つの機能を融合させ産業界の課題を解決（課題解決屋）



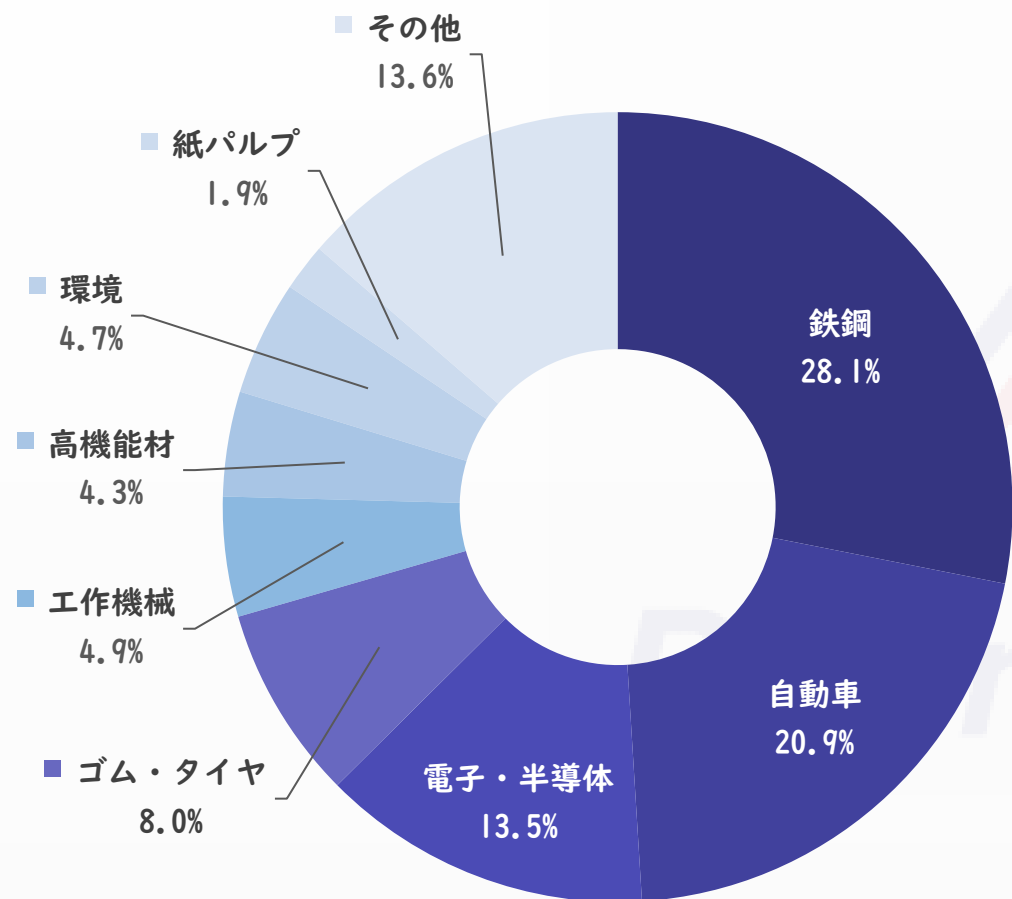
売上・営業利益推移（過去10年）

コロナ影響で一時減少も基本的には右肩上がりで成長

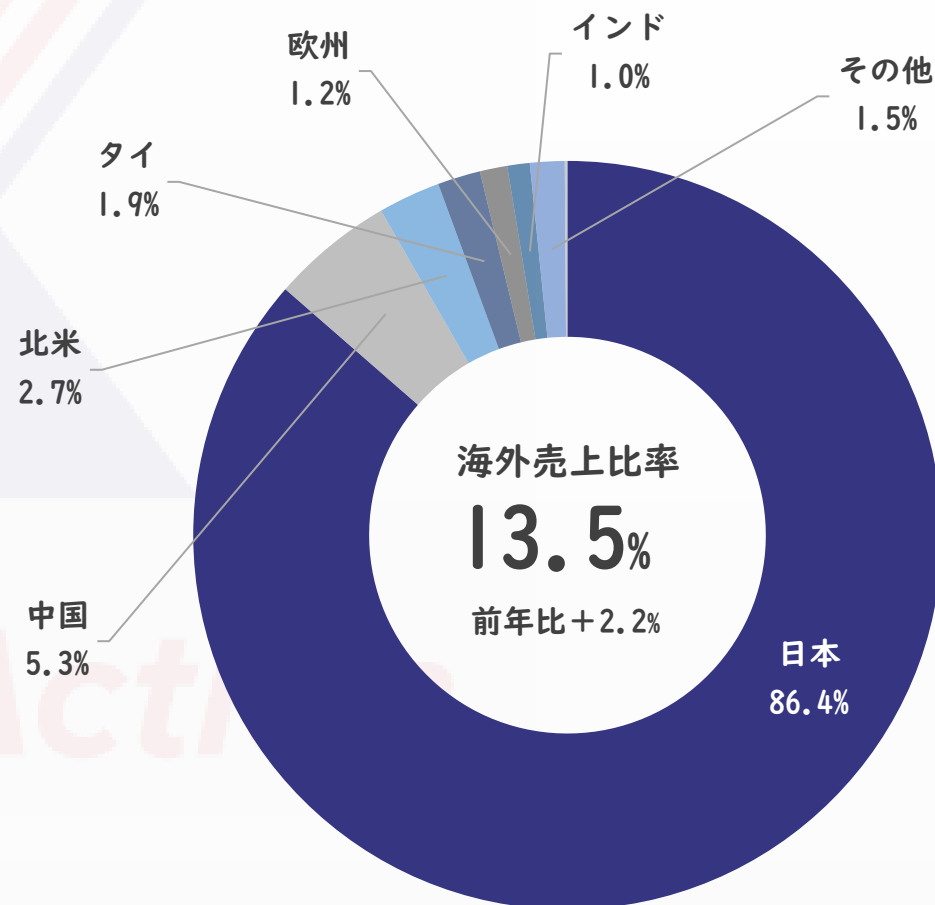


鉄鋼・自動車分野が強く、売上構成は日本が9割近く

セグメント別売上構成 (FY2023)



地域別売上構成 (FY2023)



流体制御に関する自社製品を製造・販売

ロータリージョイント



固定体から回転体に
流体を漏らさず供給

洗浄装置



半導体の製造工程
材料の異物を除去

浮上油回収装置



クーラント内に混入した
油を回収する装置

湿式微粒化装置



材料を微粒化する装置

対象業界

- 鉄鋼
- 自動車
- 電子・半導体
- 工作機械
- ゴム・タイヤ など

- 電子・半導体
- 自動車

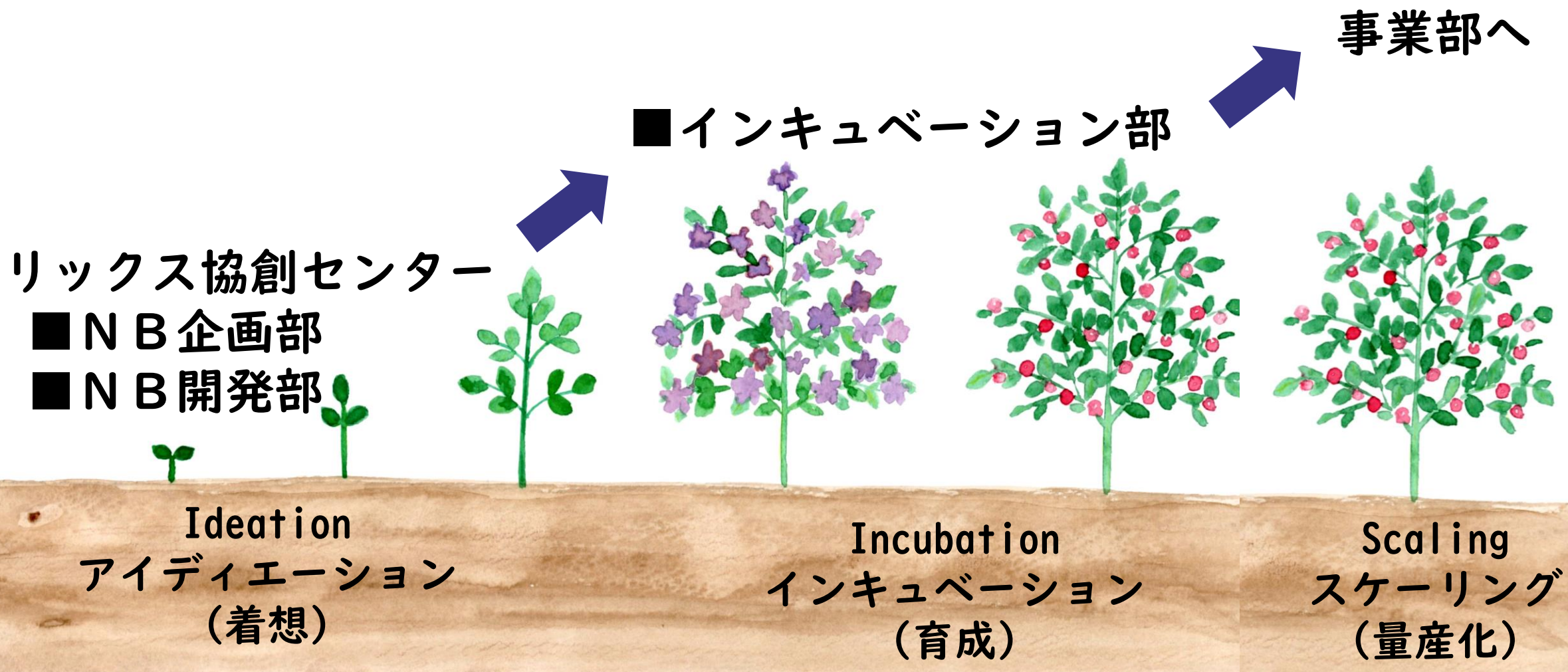
- 自動車
- 工作機械

- 鉄鋼
- 電子・半導体
- 食品
- 医薬品
- 化粧品 など

2024年4月NB企画部発足、11月リックス協創センター開所



N B 開発本部内で一気通貫で事業化まで遂行できる体制を構築



- 自己紹介
- 会社紹介
- **リックス協創センター紹介**
- オープンイノベーションの取り組み
- 最後に

RIXing Action

“協創” にかけられた想い

“餅は餅屋”のように仕入れ先や顧客の固有の強みを生かしつつ、当社の技術と融合することで顧客の課題、ひいては社会課題を解決したい。

こうした思いも込めて、施設名を「共創」ではなく

マルチな連携を実現すべく “力” が三つ含まれる「**協創**」としました。

RIXing Action

リックス協創センター 2024年11月稼働開始



リックス協創センター

目的

既存製品にとらわれない

新製品・商品・サービス開発

顧客課題・社会課題
解決

+

オリジナル品比率向上
(競争力・営業利益UP)

建物概要

所在地	福岡県糟屋郡粕屋町
施設用途	流体制御技術を軸とした新製品の研究・開発
面積・構造	1,055㎡（延べ床面積3,802㎡） 地上4階建て
建物内部	組立室、実験室、計測室、設計室、クリーンルームなど
着手・稼働	着手＝2023年3月1日 稼働開始＝2024年11月末(予定)
投資額	約19億5千万円（当社として過去最高の投資額）
その他	環境・省エネ対策としてNearly ZEB採用



High integration of sales, technology, manufacturing, and service & co-creation with partners.

- 自己紹介
- 会社紹介
- リックス協創センター紹介
- **オープンイノベーションの取り組み**
- 最後に

RIXing Action

出資と協創により 現代の社会課題・産業界課題の解決を推進

■ 出資・協創中の企業

○アイ・ロボティクス



独自開発の作業型ドローンなどを利用したプラント向けの点検ソリューションを開発・提供。人間が進入できない狭い箇所などを短時間で高品質に点検・撮影。

○ハイボット



極限環境におけるロボット技術の開発や、AIを搭載した遠隔操作ロボットを製造・開発。高所点検用ヘビ型ロボットなど人間では過酷な現場作業を解放する。

○KiQ Robotics



「世界一働きやすい生産現場をつくる」をビジョンに掲げ、ロボットハンドツール「柔軟指」の開発をはじめ、ロボットシステムの設計や導入サポートのコンサルも担う。

■ 出資・協創の目的



協創

×



ロボット
スタートアップ

- 産業界の幅広い知見
- 営業力

- ロボット開発力
- ロボット関連の知見

人手不足改善

作業品質 安定化

作業スピード向上

危険作業 減少

若年層の製造業
離れ改善

当社の保有技術を生かして、外部研究機関との協創

■ 九州大学大学院農学研究院 (共同研究)

テーマ：連続細胞培養装置の開発

社員のアイデア提案からスタート。

農林水産省「令和5年度フードテックビジネス実証事業」採択
リックス協創センターで装置化に向けて実証実験中。

■ 九州工業大学大学院工学研究院 (共同研究)

テーマ：高温水素クリープ試験機の開発

アクセラレータープログラムからスタート。

福岡県水素グリーン成長戦略会議・令和7年度製品開発支援事業
事業化検討採択（令和7年6月～令和10年3月、2,500万円）
リックス協創センターで実証実験の準備中。

■ 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 (農研機構) 技術指導

テーマ：中小酪農家向け小型餌寄せロボットの開発

社員のアイデア提案からスタート。

当社の新分野開拓として、デジタルアグリの第一弾。

農研機構さまに技術指導をいただき、急ピッチで開発中。

25年10月の全国ホルスタイン共進会@北海道に出展し、現場の声をヒアリング

- 自己紹介
- 会社紹介
- リックス協創センター紹介
- オープンイノベーションの取り組み
- **最後に**

RIXing Action

新製品開発でパートナーができて収益に貢献すれば
大成功です。

ただ一番大事なのは組織として研究と製品開発を
やり続けることです。

私にとって**協創センター自体が大きな実験**でもあります。
足を踏み出す姿を社内に見せることで、新しいモノに
興味を抱き、挑戦する社風も醸成したいです。

(2025年1月23日, 日刊工業新聞, 福岡県工業技術センターの吉海所長との対談より)

リックス株式会社
代表取締役 社長執行役員
安井 卓





リックスグループの社風・行動理念

RIXing Action

Fan, Fun, Fans

ファン(Fan)を作り、喜ばせ(Fun)、
増やす(Many Fans)ことで大きな推進力(Many Fans)を!



RIXing Action

- 自己紹介
- **地域におけるオープンイノベーションとは？**
- 会社紹介
- リックス協創センター紹介
- オープンイノベーションの取り組み
- 社員アイデア提案制度（RENS）とアクセラレータープログラム
- 最後に

RIXing Action

地域・・・

ある観点から見た一帯の、かなり広い土地（の範囲）。「一の住民」。広くは更に、その地域が含みまたは接する水域や上空の空域も含む。

⇒「地方ではない」。九州、日本の枠を超えて、**グローバルと考えてよい？**

オープンイノベーション・・・

組織内部のイノベーションを促進するため、企業の内部と外部との技術やアイデアの流動性を高め、組織内で創出されたイノベーションをさらに組織外に展開するイノベーションモデルをいう。

⇒**オープンイノベーションは、あくまでも社内のイノベーションを促進、社外で展開させるためのツールの一つ。**

地域×イノベーションとは（自己解釈ですが…）

**自社のイノベーションの促進させて、
自社のイノベーションをグローバルに展開させる**

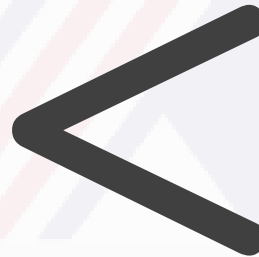
” **メーカー商社** ”として顧客ニーズに幅広く対応可能

メーカー

- GOOD! 技術力が高い
- BAD! 取扱品数が少ない

商社

- GOOD! 取扱品数が多い
- BAD! 技術力が低い



課題解決力
(技術力 × 取扱品数)

RIX

メーカー商社

- GOOD! 技術力がある
(自社工場と研究開発施設保有)
- ×
- GOOD! 取扱品数が多い
(取引先約2,600社 商品数約3,000種)
- ||

様々な顧客のニーズに応える
高い課題解決力

新事業、新製品のアイデアの種を発掘する「NB開発本部」を新設

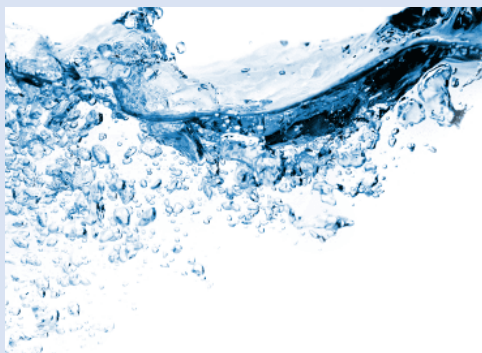
ニュービジネス

NB開発本部 (2021年4月時点)

インキュベーション部



アクアイノベーション事業部



デジタル事業部



NB開発部



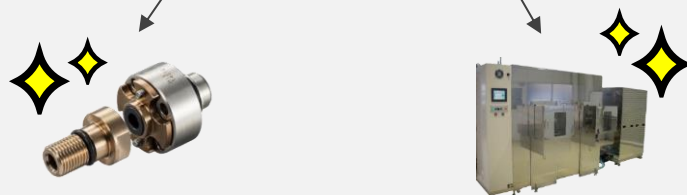
社会・産業界の課題を踏まえた
新製品・商品・サービスを開発



これまで

当社における 「深化型の開発」

技術開発センター（須恵町）



既存製品「ロータリージョイント」や
「洗浄装置」の
ラインナップ拡充・用途開発など

当社における 「探索型の開発」



- 深化型の開発に追われ探索型の開発には集中して取り組めていない状況
- リックスI社の技術だけで何かを開発するには限界があるし幅も狭い

本社
福岡市博多区



★ リックス協創センター（探索）
福岡県粕屋郡粕屋町（福岡空港から10分）



技術開発センター（深化）
福岡県粕屋郡須恵町



「リックス協創センター」内部の一部ご紹介

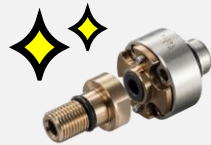


High integration of sales, technology, manufacturing, and service & co-creation with partners.

これから

当社における 「深化型の開発」

技術開発センター（須恵町）



既存製品「ロータリージョイント」や「洗浄装置」のラインナップ拡充用途開発など

当社における 「探索型の開発」

リックス協創センター（粕屋町）



- 「深化」と「探索」を行う施設の**立地を物理的に離すことで探索型の開発に集中**
- 同センターは**社長自らがコミット**することで現在の儲けの源泉を担う「深化」からの**マイナスな声をシャットアウト**できる

- 自己紹介
- 地域におけるオープンイノベーションとは？
- 会社紹介
- リックス協創センター紹介
- オープンイノベーションの取り組み
- **社員アイデア提案制度（RENS）とアクセラレータープログラム**
- 最後に

RIXing Action

協創の促進や新事業のタネを見つける企画を実施

ビジネスアイデア創出企画（社内）

■ **RENS** (RiX' s Exploration of Next Seeds)



全社員からビジネスアイデアを募る制度。
2022年から開始し計75件の応募

■ **アクセラレータープログラム**



社外（ベンチャー企業・大学など）の
協創パートナーを募る制度
⇒社内ベンチャーを構想中。



■九州大学大学院農学研究院・中村教授との共同研究

農林水産省「令和5年度フードテックビジネス実証事業（2次募集）」に採択

⇒**社員のアイデア提案からスタート**。リックス協創センターで実証実験の準備中。

■「リックス・安井留学支援基金」創設

リックス株式会社の13万株を寄附し、配当金を令和7年度より受け入れ、その配当金を財源に本学が現在実施している海外留学渡航支援や国際会議等参加支援、受入留学生への支援等、各種事業を拡充・新設。